

住宅の断熱仕様強化による省エネ効果

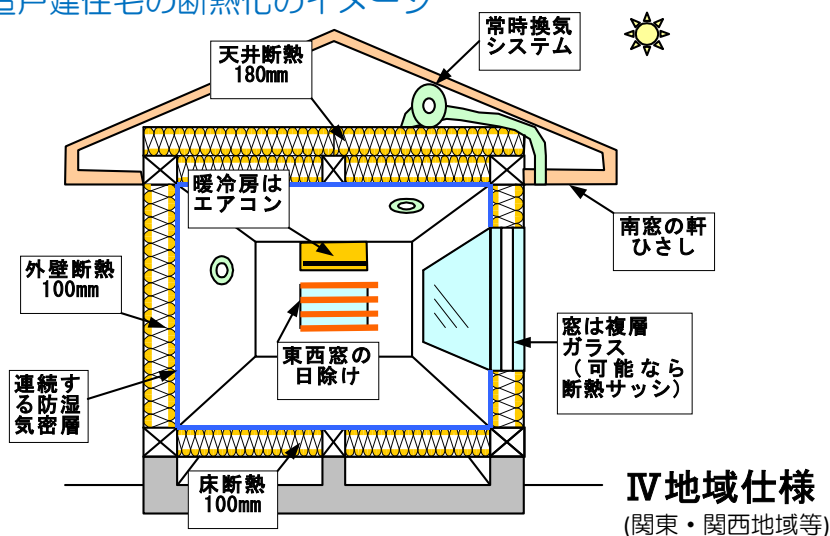
●大層を占める無断熱の住宅に比べ、現行基準の住宅はエネルギー消費量、冷暖房費で約5割低減可能。

●基準ごとの断熱仕様等の比較

項目		S55年以前	S55年基準	H4年基準	H11年基準（現行基準）
性能基準	熱損失係数	—	5.2 W/ (㎡K) 以下	4.2 W/ (㎡K) 以下	2.7 W/ (㎡K) 以下
仕様基準 (例)	断熱材（外壁）	なし	グラスウール30mm	グラスウール40mm	グラスウール100mm
	断熱材（天井）	なし	グラスウール40mm	グラスウール55mm	グラスウール180mm
	開口部（窓）	アルミサッシ +単板	アルミサッシ +単板	アルミサッシ +単板	アルミニ重サッシ 又はアルミサッシ+複層ガラス
年間暖冷房費※		約 6万5千円/年	約4万7千円/年	約4万1千円/年	約3万1千円/年
年間暖冷房エネルギー消費量※		約28GJ	約20GJ	約17GJ	約13GJ

※一定の仮定をおいて国土交通省において試算。

●木造戸建住宅の断熱化のイメージ



●年間暖冷房エネルギー消費量※の試算

